

津島高等学校人権だより

津高人権委員会



ひゅーまんらいつ

令和2年第6号

シトラスリボンプロジェクトへの協力をお願いします!!



中高人権委員合同研修の様子

中学校の人権委員の皆さんとzoomで会議中



今年度、津島高校人権委員会は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、様々な活動が制限され、例年実施していた県外での現地研修や今年度実施を予定していた地域の障がい者支援作業所での体験活動が中止となってしまいました。

そのような中、このコロナ禍でも私たち人権委員にできることはないかと検討した結果、1学期に人権デーで紹介した愛媛発のシトラスリボンプロジェクトに賛同し行動することを考えました。このプロジェクトに参加するにあたっては、これまで、共に活動してきた津島中学校の人権委員会と協力して活動を進めていくこととなり、7月31日にはシトラスリボンプロジェクトについての中高合同の研修会を行いました。

研修会には、中学生6名、高校生6名が参加し、まずはシトラスリボンプロジェクトの趣旨について宇和島市役所人権啓発課の方から説明を聞いたり、実際にシトラスリボンを作ったりといった活動に取り組みました。そのほか、この研修会では外部講師を招いて、人権ワークショップも行いました。この研修会を通して中学生、高校生全員でシトラスリボンプロジェクトについて学習しその趣旨を理解することができました。

2学期に入り先日10月7日には、今後の各校の人権委員会の活動について中学生の人権委員とzoom会議を行い、1学期の研修会の感想や、今後お互いに中学生の人権委員と協力してプロジェクトに取り組んでいくこと、そして、リボンを制作した後どのような活動に繋げていくかなどについて話し合いました。また、10月8日、中間考査初日ではありましたが、皆さんに協力していただき新型コロナウイルスに関するアンケートも実施することができました。このアンケートは津島中学校でも実施の予定です。また、アンケートの結果報告は11月の本校文化祭の人権委員会報告で行いたいと思います。皆さん御協力ありがとうございました。今後は、まずリボンの制作に取り組むと考えています。リボンの材料は、宇和島市人権啓発課や岩松公民館から提供していただいています。一人でも多くの方にリボン制作に協力していただき、この活動の輪を広げていきたいと考えています。

第2学期 第2回人権・同和教育ホームルーム活動

令和2年9月17日 6限

今年度第2回目の人権・同和教育ホームルーム活動が9月17日に実施されました。

各ホームルームとも、人権委員を中心に担任、副担任の先生としっかり打ち合わせを行い熱心に活動が行われていました。各ホームルームの皆さんの感想を紹介します。

1年1組 テーマ 私たちと人権問題Ⅱー心のバリアフリーを目指してー

感想 ○障がいの有無にかかわらず、支え合いながら生きていくということが大切なことなのだとわかった。

○障がいにはいろいろな種類があって、目に見えづらいものもあることを知った。

○障がいを持っている方に対して心のバリアが生まれてしまうことや、車いすの方はどのようなことに注意しなければならないかなどを知ることができた。



2年1組 テーマ 人権の歴史に学ぶⅡー「解放令」～水平社運動ー

感想 ○西光万吉さんは自分たちを否定し、恥じていたが、それが間違いだと気付き、行動に移せたことがすごいと思った。このように当事者の方が苦しんでいたことを知り、差別のない世界を築いていきたいと思った。

○他人事だと思わずに差別や人権問題は、自分のすぐそばにあるということを忘れないようにしたい。一人の力は小さいかもしれないが、「後世に伝える」ということを行動として起こしていきたい。



3年1組 テーマ 人権問題を解決するためにⅡー身元調査をなくそうー

感想 ○本人通知制度を調べると事前登録型と被害告知型があると分かりました。被害告知制度では請求した第三者の情報が開示されますが、事前登録型は開示されない場合があります。第三者が8種類の専門家である場合は、専門家ごとに利用目的が制限されるそうです。

○「差別はなくなる」という言葉をたまに耳にしますが、確かに差別はなくなるかもしれないけれど、差別をなくしていく活動はたくさんあって、その活動を知って学ぶだけでも啓発活動につながるのではないかと思います。



人権委員会の活動や人権・同和教育ホームルーム活動のクラスの友達との感想についてコメントしよう!

()年()組()番 氏名()